

1. 一抜け方式を採用した場合の落札者決定の例

【入札時】

- ①入札時は、全件応札は可能である。受注したい工事には全て応札すること。
②事後審査にて、「落札者決定」した時点で、落札者となった者の次案件以降の入札書を無効として取り扱います。
※上位の案件で、第1位の落札候補者となっても、事後審査にて、不適格(無効)となった場合に、次案件以降の入札に応札していない場合は受注の希望がないものとして取り扱います。

1件目			
A	430万	第1位	落札候補者
B	430万	第2位	落札候補者
C	430万	第3位	落札候補者
D	430万	第4位	落札候補者
E	430万	第5位	落札候補者

A～E抽選にて順位を決定する。

2件目			
A	420万	第1位	落札候補者
B	420万	第2位	落札候補者
C	420万	第3位	落札候補者
D	420万	第4位	落札候補者
E	420万	第5位	落札候補者

A～E抽選にて順位を決定する。

3件目			
A	400万	第1位	落札候補者
B	400万	第2位	落札候補者
C	400万	第3位	落札候補者
D	400万	第4位	落札候補者
E	400万	第5位	落札候補者

A～E抽選にて順位を決定する。

【事後審査】

(例1) 第1位落札候補者が事後審査で通常どおり落札者となったとき

1件目			
A	430万	第1位	落札候補者 ➡ 落札者
B	430万	第2位	落札候補者
C	430万	第3位	落札候補者
D	430万	第4位	落札候補者
E	430万	第5位	落札候補者

2件目			
A	420万	第1位	落札候補者 ➡ 無効(一抜け)
B	420万	第2位	落札候補者 ➡ 落札者
C	420万	第3位	落札候補者
D	420万	第4位	落札候補者
E	420万	第5位	落札候補者

3件目			
A	400万	第1位	落札候補者 ➡ 無効(一抜け)
B	400万	第2位	落札候補者 ➡ 無効(一抜け)
C	400万	第3位	落札候補者 ➡ 落札者
D	400万	第4位	落札候補者
E	400万	第5位	落札候補者

- ・1件目(落札者A) 第1位の落札候補者のA社を審査し、落札者と決定します。
- ・2件目(落札者B) 第1位の落札候補者はA社であるが、A社は上位の案件で落札者と決定したので入札書は無効と取り扱う。次の順位の落札候補者のB社を審査し落札者と決定します。
- ・3件目(落札者C) 第1位の落札候補者のA社であるが、A社は上位の案件で落札者と決定したので入札書は無効と取り扱います。
第2位の落札候補者はB社であるが、B社も上位の案件で落札者と決定したので入札書は無効と取り扱う。次の順位の落札候補者のC社を審査し落札者と決定します。

(例2) 第1位落札候補者が事後審査で不適格(無効)となったとき

※不適格(無効)・・・入札参加資格要件を満たさない、落札候補者の辞退、入札条件(無効とする入札)など

1件目			
A	430万	第1位	落札候補者 ➡ 不適格(無効)
B	430万	第2位	落札候補者 ➡ 落札者
C	430万	第3位	落札候補者
D	430万	第4位	落札候補者
E	430万	第5位	落札候補者

A～E抽選にて順位を決定

2件目			
A	420万	第1位	落札候補者 ➡ 落札者
B	420万	第2位	落札候補者 ➡ 無効(一抜け)
C	420万	第3位	落札候補者
D	420万	第4位	落札候補者
E	420万	第5位	落札候補者

A～E抽選にて順位を決定

3件目			
A	400万	第1位	落札候補者 ➡ 無効(一抜け)
B	400万	第2位	落札候補者 ➡ 無効(一抜け)
C	400万	第3位	落札候補者 ➡ 落札者
D	400万	第4位	落札候補者
E	400万	第5位	落札候補者

A～E抽選にて順位を決定

- ・1件目(落札者B) 第1位の落札候補者のA社を審査し不適格(無効)となった。次の順位の落札候補者のB社を審査し落札者と決定します。
- ・2件目(落札者A) 第1位の落札候補者のA社を審査し落札者と決定します。
※B社は上位の案件で落札者となっているため、入札書は無効として取り扱います。
- ・3件目(落札者C) 第1位の落札候補者はA社であるが、A社は上位の案件で落札者と決定したので入札書は無効と取り扱います。
第2位の落札候補者はB社であるが、B社も上位の案件で落札者と決定したので入札書は無効と取り扱う。次の順位の落札候補者のC社を審査し落札者と決定します。

2. 一抜け方式の対象外とする場合（要綱第4条に該当する場合）

一抜け方式の対象外とする場合（要綱第4条に該当する場合）

○落札決定順位順に落札者を決定した結果、有効応札者数が不在となる場合は、一抜け方式を適用せず、当該案件の全応札者から落札者を決定するものとします。

○公告時点において、案件数と参加見込対象業者数により、一抜け方式により参加業者が1者となることが予測される場合は、公告時において一抜け方式を採用しません。

（例1）

【入札時】

1件目		
A	430万	第1位 落札候補者
B	430万	第2位 落札候補者
C		不参加
D		不参加
E		不参加

2件目		
A	420万	第1位 落札候補者
B	420万	第2位 落札候補者
C		不参加
D		不参加
E		不参加

3件目		
A	410万	第1位 落札候補者
B	410万	第2位 落札候補者
C		不参加
D		不参加
E		不参加

【事後審査】

1件目		
A	430万	第1位 落札候補者 ➡ 落札者
B	430万	第2位 落札候補者
C		不参加
D		不参加
E		不参加

2件目		
A	420万	第1位 落札候補者 ➡ 無効（一抜け）
B	420万	第2位 落札候補者 ➡ 落札者
C		不参加
D		不参加
E		不参加

3件目		
A	410万	第1位 落札候補者 ➡ 落札者
B	410万	第2位 落札候補者
C		不参加
D		不参加
E		不参加

3件目は、一抜け方式を採用すると有効応札者が不在となるので、一抜け方式を適用せず当該案件の全応札者から落札者を決定するものとします。

（例2）

【入札時】

1件目		
A	430万	第1位 落札候補者
B	430万	第2位 落札候補者
C	430万	第3位 落札候補者
D		不参加
E		不参加

2件目		
A	420万	第2位 落札候補者
B	420万	第1位 落札候補者
C		不参加
D		不参加
E		不参加

3件目		
A	410万	第1位 落札候補者
B		不参加
C		不参加
D		不参加
E		不参加

【事後審査】

1件目		
A	430万	第1位 落札候補者 ➡ 落札者
B	430万	第2位 落札候補者
C	430万	第3位 落札候補者
D		不参加
E		不参加

2件目		
A	420万	第2位 落札候補者 ➡ 無効（一抜け）
B	420万	第1位 落札候補者 ➡ 落札者
C		不参加
D		不参加
E		不参加

3件目		
A	410万	第1位 落札候補者 ➡ 落札者
B		不参加
C		不参加
D		不参加
E		不参加

3件目は、一抜け（一抜け）方式を採用すると有効応札者が不在となるので、一抜け方式を適用せず当該案件の全応札者から落札者を決定するものとします。